	]上美尚寺	專門学校	開講年度	平成30年度 (2	2018年度)	授業科目	自動車設計工:	学	
科目基础	楚情報								
科目番号		0012				専門/選	専門 / 選択		
授業形態		講義	講義				学修単位: 2		
開設学科					対象学年	専1			
開設期		前期			週時間数	2			
<u>//ib///ii</u> 教科書/教				一一一一	ZZFGIDSX				
<u> </u>	(1/2)	伊藤 一也		工口目/					
223数页 到達目標		Trisk G							
①自動車記 ②開発構想 ③動力性能 ④車両運動 ⑤車体を記 【教育目	設計の概要が 想書に必要な 能を設計でき 動性能を設計 設計できる 票】D 到達目標】D-	情報が理解で る できる	きる						
ルーノリ	ノック		田相位大小小寺」		押が生か+\70\***  ***		士が去し かりの		
			理想的な到達レ	ベルの目安	標準的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安	
自動車設計の概要が理解できる			自動車設計の概要を説明出来る		自動車設計の概要を概ね説明出来  る		自動車設計の概	腰を説明出来ない	
開発構想書に必要な情報が理解できる			   自動車設計に必要な開発構想書の   内容が理解できる		ら   自動車設計に必要な開発構想書の   内容が概ね理解できる		自動車設計に必内容が理解でき	 要な開発構想書の ない	
動力性能を設計できる			自動車設計の理論に基づいた動力 性能の設計が一人で完遂出来る		自動車設計の理論に基づいた動力 性能の設計が指導者の指示の下で 完遂出来る			論に基づいた動力 来ない	
車両運動性能を設計できる			自動車設計の理論に基づいた車両 運動性能の設計が一人で完遂出来 る		自動車設計の理論に基づいた車両 運動性能の設計が指導者の指示の 下で完遂出来る			記論に基づいた車両 ∵が出来ない	
車体を設計できる			自動車設計の理論に基づいた車体 の設計が一人で完遂出来る		自動車設計の理論に基づいた車体 の設計が指導者の指示の下で完遂 出来る		自動車設計の理の設計が出来な	論に基づいた車体 にい	
学科の登	到達目標項	目との関係	Ŕ		1				
教育方法	去等								
		# 5 + > 比级##	工学の亩門知識を	- 44 A L L L L L L L L L L L L L L L L L	工器制口元十2ウ料	古の門及乳斗に	・・・ 次面 + 2 加速 レ 制	口の介面、問答、	
概要 授業の進&	め方・方法	設計に要す 前半は教科 なお, 実習	る総合力を修得す 書と独自資料を用は集中講義形式で	「る。 引いた講義, および	工業製品である自動 PCを用いた演習を				
授業の進む 注意点		設計に要す前おおります。 前半は大きなまでは、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象	る総合力を修得す 書と独自資料を用 は集中講義形式で 】 」に対応する教科 ・評価基準】 ート(100%)で評	「る。 引いた講義, および 『実施する。 料書の内容を事前に	P Cを用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知っ	行う。後半はキ	· -ットカーを用いた	実習を行う。	
授業の進め	画	設計に要す科習に要す科習には実施を表現では、対象のでは、対象	る総合力を修得す 書と独自資料を用 は集中講義形式で 】 」に対応する教科 ・評価基準】 一ト(100%)で評 に関する提案内容	「る。 引いた講義, および 『実施する。 料書の内容を事前に 「価する。詳細は第:	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。	行う。後半はキ	・ ・ットカーを用いた しだことを応用して	実習を行う。	
授業の進む 注意点	<u> </u>	設計には 教習 習容法 ポーツ 関連	る総合力を修得する総合力を修得すまり、 書と独自資料を用は集中講義形式で 】」に対応する教科・評価基準】 ・中(100%)で評に関する提案内容	「る。 引いた講義, および 『実施する。 料書の内容を事前に 「価する。詳細は第:	P Cを用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。	行う。後半はキ	・ ・ットカーを用いた んだことを応用して 票	実習を行う。	
受業の進& 主意点	<b></b>	設計には教習習答法は実 学内内 と	る総合力を修得する総合力を修得すると独自資料を用は集中講義形式で	「る。 引いた講義,および 『実施する。 料書の内容を事前に 「価する。詳細は第: 「の工学的合理性に	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 遅	行う。後半はキ する。授業で学ん 風ごとの到達目相 国動車設計の概	・ ・ットカーを用いた んだことを応用して 票 要が理解できる	実習を行う。	
受業の進む 主意点	<b></b>	設計には教習習答法は実 学内内 と	る総合力を修得する総合力を修得すまり、 書と独自資料を用は集中講義形式で 】」に対応する教科・評価基準】 ・中(100%)で評に関する提案内容	「る。 引いた講義,および 『実施する。 料書の内容を事前に 「価する。詳細は第: 「の工学的合理性に	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 遅 員	行う。後半はキ する。授業で学ん 風ごとの到達目相 調動車設計の概 別発構想書に必	・ットカーを用いた んだことを応用して 悪 要が理解できる 要な情報が理解でき	実習を行う。	
受業の進& 主意点	<b></b>	設計にます 科習 習容法 ポープ 関連	る総合力を修得する総合力を修得すると独自資料を用は集中講義形式で	「る。 引いた講義,および 『実施する。 料書の内容を事前に 「価する。詳細は第: 「の工学的合理性に	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 遅 員	行う。後半はキ する。授業で学ん 風ごとの到達目相 国動車設計の概	・ットカーを用いた んだことを応用して 悪 要が理解できる 要な情報が理解でき	実習を行う。	
受業の進む 主意点	<b></b>	設計にます 科習 習容法 ポープ 関 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	る総合力を修得する総合力を修得すると独自資料を用は集中講義形式で  」に対応する教科・評価基準) ート(100%)で評に関する提案内容  (業内容) ・動車設計の基礎 ・レセプト・レイブ	「る。 引いた講義,および 『実施する。 料書の内容を事前に 「価する。詳細は第: 「の工学的合理性に	P Cを用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 退 員	行う。後半はキ する。授業で学ん 風ごとの到達目相 調動車設計の概 別発構想書に必	・ットカーを用いた んだことを応用して 票 要が理解できる 要な情報が理解でき が理解できる	実習を行う。 C立案した自動車の	
受業の進& 主意点	in the state of th	設計には (で (で (で (で (で (で (で (で (で (で	る総合力を修得する総合力を修得すると独自資料を用は集中講義形式で  」に対応する教科・評価基準) 一ト(100%)で評に関する提案内容  (業内容) 動車設計の基礎 コンセプト・レイスの対性能の基礎	「る。 引いた講義, および で実施する。 料書の内容を事前に 価する。詳細は第1 の工学的合理性に	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知っ ついて評価する。 退 員	行う。後半はキョンスの到達目は 日動車設計の概要 日の世間のは 日の世間の基礎が 日の世間の基礎が 日の世間の基礎が 日の世間の基礎が 日の世間の基礎が 日の世間の基礎が 日の世間の基礎が 日の世間の基礎が 日の世間の基礎が 日の世間の基礎が 日の世間の基礎が 日の世間のといる。	・ットカーを用いた んだことを応用して 票 要が理解できる 要な情報が理解でき が理解できる	実習を行う。 C立案した自動車の	
受業の進& 主意点	1stQ	設計にはまず 対対 ではまず 対対 ではまず ではまず で内が ではまず で内が での での での での での での での での での での	る総合力を修得すると独自資料を用は集中講義形式で  」 に対応する教科・評価基準) 一下(100%)で評に関する提案内容  「業内容」 ・ 対応するを発達する。 ・ 対応する教育・ でいる。 ・ 対応するとは、	「る。 引いた講義, および で実施する。 料書の内容を事前に 価する。詳細は第1 の工学的合理性に	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 週 自 男	行う。後半はキロックでは、	・ットカーを用いた んだことを応用して 悪 要が理解できる 要な情報が理解でき が理解できる できる 基礎が理解できる	実習を行う。 [立案した自動車の	
受業の進& 主意点	打stQ	設計はおります 科習 習容法で書 という は 実 学内方と想 関 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	る総合力を修得する総合力を修得する場合力を修得する。 書と独自資料を打し、対応する教科・評価をは、一ト(100%)で評し、では、対応する。 では、対応する教科・アイロの後のでは、は、対応をは、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応は、対応	「る。 引いた講義, および で実施する。 料書の内容を事前に 価する。詳細は第1 の工学的合理性に	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 退 員 男	行う。後半はキロックでは、1000円では	・ットカーを用いた んだことを応用して 票 要が理解できる 要な情報が理解できる できる できる できる できる と と を の できる できる できる の できる	実習を行う。 [立案した自動車の	
受業の進& 主意点	打stQ	設計は、	る総合力を修得する総合力を修得する場合力を修得する事と独自資料を打し、対応する教科・評価(100%)で評して関する提案内容を動車設計の基礎に関する場合の対性能の設計の性能の設計を動性能がデンシャを動力性能が表対しまる。	「る。 引いた講義, および で実施する。 料書の内容を事前に 価する。詳細は第1 の工学的合理性に	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 進 員 男	行う。後半はキョー できる。授業で学り できる。授業で学り できる。授業で学り できる。 授業で学り できる	デットカーを用いた んだことを応用して 悪 要が理解できる 要な情報が理解できる できる 基礎が理解できる できる とはいます。	実習を行う。 C立案した自動車の	
受業の進む 主意点 受業計画	1stQ	<ul><li>設前な【「「開 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週</li></ul>	る総合力を修得する総合力を修得する場合力を修得する事と独自資料を打して対応する教をできます。一下(100%)で評して関する提案内容を動車設計の基礎を対したとして対応を表した。 は、対応を表した。 は、対応を表	「る。 引いた講義,および 三実施する。 料書の内容を事前に に価する。詳細は第3 所の工学的合理性に アウト・開発日程	P Cを用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 選 自 財 事	行う。後半はキャースの である。授業で学んの である。授業で学んの である。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	デットカーを用いた のだことを応用して 要が理解できる 要な情報が理解できる できる 基礎が理解できる をきる ませが理解できる はきる ませが理解できる はいきる はいきる はいきる	実習を行う。 C立案した自動車の	
受業の進む 主意点 受業計画	1stQ	設前な【「【開出」の 1 2 3 3 4 5 6 7 8 3 9 3 4 9 3 8 9 9 3 4 9 5 6 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	る総合力を修得する総合力を修得すると独自資料を用は集中講義形式でする教科・評価では事業を関する提案内容は関する提案内容は関するというでは、一下(100%)で評価では、一下(100%)で評価では、一下(100%)で評価を関するというでは、一下(100%)で評価を関するというでは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下	「る。 引いた講義,および 三実施する。 料書の内容を事前に に価する。詳細は第2 所の工学的合理性に アウト・開発日程	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 選 自 財 事 事 事	行う。後半はキャースの到達目を表する。授業で学ります。 受業で学ります との到達目を関する はまま できます かけま のま できます かけま できます かけま できます しゅう はいます できます かいま できます かいま できます かいま できます かい という できます いっこう はいい はい	デットカーを用いた のだことを応用して 悪い理解できる 要な情報が理解できる できる 基礎が理解できる ときる ははいきる はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいます。 はいまする。 はいます。 はいまする。 はいまる。 はいまする。 はいまる。	実習を行う。 「立案した自動車の	
受業の進む 主意点 受業計画	1stQ	世界 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る総合力を修得する 書と独自資料を打了 】 」に対応するる教・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「る。 引いた講義,および 三実施する。 料書の内容を事前に に価する。詳細は第2 所の工学的合理性に アウト・開発日程	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知っついて評価する。	行う。後半はキロスタイプ (1) では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	できる を関が理解できる 要が理解できる 要な情報が理解できる できる 基礎が理解できる できる はできる はできる はできる はできる はできる はできる はできる はできる はできる はできる	実習を行う。	
受業の進む 主意点 受業計画	1stQ	世界 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る総合力を修得すると、 書と独自講義形式でする。 計・評価基準) 」にでは、またでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	「る。 引いた講義,および 三実施する。 料書の内容を事前に に価する。詳細は第2 所の工学的合理性に アウト・開発日程	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知っついて評価する。	行う。後半はキロののでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のの可達目を関する。 できる	デットカーを用いた んだことを応用して 悪 要が理解できる 要な情報が理解できる できる 基礎が理解できる な計できる 対理解できる 対理解できる 対理解できる 対理解できる 対理解できる 大できる	実習を行う。 C立案した自動車の Eる	
受業の進む 主意点 受業計画	打stQ	世界 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る総合力を修得する 書と独自資料を打了 】 」に対応するる教・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	「る。 引いた講義,および 三実施する。 料書の内容を事前に に価する。詳細は第2 所の工学的合理性に アウト・開発日程	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知っついて評価する。	行う。後半はキロののでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のの可達目を関する。 できる	できる を関が理解できる 要が理解できる 要な情報が理解できる できる 基礎が理解できる できる はできる はできる はできる はできる はできる はできる はできる はできる はできる はできる	実習を行う。 C立案した自動車の Eる	
受業の進む 主意点 受業計画	1stQ	世界 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る総合力を修得すると、 書と独自講義形式でする。 計・評価基準) 」にでは、またでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	「る。 引いた講義,および 実施する。 料書の内容を事前に 価する。詳細は第1 の工学的合理性に アウト・開発日程 アウト・開発日程	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 追 自 財 事 事 事	行う。後半はキャースの到達目を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	デットカーを用いた んだことを応用して 悪 要が理解できる 要な情報が理解できる できる 基礎が理解できる な計できる 対理解できる 対理解できる 対理解できる 対理解できる 対理解できる 大できる	実習を行う。 こ立案した自動車の きる が理解できる なできる	
受業の進む 主意点 受業計画	1stQ	世界 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る総合力を修得する。 書と独中講義形式 】 に対応する。 ・ 評価(100%)で評価(100%)で評価(100%)で評価(100%)で評価(100%)で評価(100%)で評価(100%)で評価(100%)で評価(100%)で評価(100%)で記載を表する。 は、動力性能の設計で表述。 は、動力性能の設計では、動力性能の設計では、動力性能のの設計では、ののの設計では、ののの設計では、対し、は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	「る。 引いた講義、および 実施する。 料書の内容を事前に 価する。詳細は第 の工学的合理性に アウト・開発日程 アウト・開発日程	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 進 員 場 動 事 事 リング タ ラ	行う。後半はキープラ。後半はキープラ。後半はキープラ。後半はキープランスを受ける。授業で学りの到達目を関するとの到達目を関するという。 できる かった いっこう はいい かい しゅう はい かい しゅう はい かい しゅう はい いっと いっこう はい いっこう いっこう いっこう いっこう いっこう はい い	デットカーを用いた んだことを応用して 悪 要が理解できる 要な情報が理解できる できる 基礎が理解できる 公計できる 対理解できる 対理解できる は対してきる が理解できる が理解できる を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの を対してもの をがしい をがし をがし をがし をがし をがし をがし をがし をがし	実習を行う。  C立案した自動車の  Eる  「理解できる  理解できる  理解できる	
受業の進む 主意点 受業計画	1stQ	世界 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	る総合力を修得する。 書と独中講義形式でいた。 計・評・に関する場合では、 ・評・に関すると、 ・評・に関する。 ・評・に関する。 ・評・に関する。 ・評・に関する。 ・評・に関する。 ・語・では、 ・では、	「る。 引いた講義、および 実施する。 料書の内容を事前に 価する。詳細は第 の工学的合理性に アウト・開発日程 アウト・開発日程	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知っ ついて評価する。 退 自 開 重 車 車 車 車 車 車	行う。後半はキャースの一番できた。 授業で学ります。 授業で学ります。 受験を受ける。 授業で学ります。 との到達目を関するとの到達目をできます。 かった できます いった	できる。 ま礎が理解できる。 はは、できる。 をは情報が理解できる。 できる。 をはが理解できる。 できる。 はいできる。 はいで。 はいで。 はいで。 はいで。 はいで。	実習を行う。  C立案した自動車の  Eる  「理解できる  理解できる  理解できる	
受業の進む 主意点 受業計画	打stQ 2ndQ	<ul><li>設前な 「 「 関</li></ul>	る総合力を修得する。 書と独中講義形式で、 計・評(100%)で評して、 は集中は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	「る。 引いた講義,および 実施する。 料書の内容を事前に 価する。詳細は第1 での工学的合理性に アウト・開発日程 アウト・開発日程 マル	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。	行う。後半はキープラーの後半はキープラーの後半はキープラーの表表で学ります。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる	できる を受が理解できるできるできる。 ををが理解できるできる。 ををが理解できるできる。 をできる。 をできる。 はでときる。 はできる。 はで。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。	実習を行う。  C立案した自動車の  Eる  Was a control of the contr	
授業の進 注意点 授業計画 前期	1stQ	設前な間週12345678911234567891123434343434343434343434344344	る総合力を修得する。 書は集中 に評している。 書は集中 がいます。 一に関する。	「る。 引いた講義,および 実施する。 料書の内容を事前に 活価する。詳細は第3 所の工学的合理性に アウト・開発日程 マル ション・ステアリ イビング ジオメトリの実習 実習	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。	行う。後半はキャースの一番できた。 授業で学りる。 授業で学ります。 との到達目を関する。 との到達目を関する。 おります。 カリ 性能を認っています。 カリ 性能にほっています。 マイヤ 特性の影響をある。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 おります。 カリ 性能にほう アイヤ 特性の影響をある。 という はいます。 という はいまり はいます。 という はいます。 という はいまり という はいます。 という はいまり という はいまります。 という はいまり というます。 という はいまります。 という はいまり という はいまり という はいまり という はいまり というます。 という はいまり という はいまります。 というまり という はいまります。 という はいまり という はいまり という はいまります。 という はいまり という	できる を受が理解できるできるできる。 ををが理解できるできる。 ををが理解できるできる。 をできる。 をできる。 はでときる。 はできる。 はで。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。 はできる。	実習を行う。  C立案した自動車の  Eる  W理解できる  Wできる  C理解できる  C理解できる  C理解できる	
受業の進め注意点受業計画	1stQ	計学的	る総合力を修得する。 書は集中 対応を作り、	「る。 引いた講義,および 実施する。 料書の内容を事前に に価する。詳細は第: に価する。詳細は第: にでいたが アウト・開発日程 アウト・開発日程 アウト・開発日程 アウト・開発日程 アウト・開発日程 アウト・開発日程	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知っついて評価する。 近 月 日 リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ	行う。後半はキープラーの後半はキープラーの後半はキープラーの表表で学ります。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる	できるできるというできるともいうでものものできるともいうできるともいうできるというできるともいうできるともいうできるともいうできるともいうできるというできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでもいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできもいものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでも	実習を行う。  「立案した自動車の」  「立案した自動車の」  「できる 「理解できる」 「理解できる」 「理解できる」 「理解できる」 「できる」 「できる」 「できる」 「できる」 「できる」 「できる」	
受業の進め注意点	ョ 1stQ 2ndQ	設前な間週12345678911234567891123434343434343434343434344344	る総合力を修得する。 「一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、	「る。 引いた講義,および 実施する。 料書の内容を事前に 活価する。詳細は第3 所の工学的合理性に アウト・開発日程 マル ション・ステアリ イビング ジオメトリの実習 実習	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知っついて評価する。 近 月 日 リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ リ	行う。後半はキープラーの後半はキープラーの後半はキープラーの表表で学ります。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる	できるできるというできるともいうでものものできるともいうできるともいうできるというできるともいうできるともいうできるともいうできるともいうできるというできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでもいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできるともいうでものできもいものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでも	実習を行う。  C立案した自動車の  できる  できる  理解できる  理解できる  理解できる  理解できる	
受業の進め主意点	国 1stQ 2ndQ	<ul><li>設前な【「【開 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週</li></ul>	る総合力を修得する。 書は集十二に「大きない」とは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次で	「る。 引いた講義, および 実施する。 料書の内容を事前に 価する。詳細は第3 の工学的合理性に アウト・開発日程 アウト・開発日程 マル ション・ステアリイビング ジオメトリの実習 に ではなりではない。 ではなりではない。 では、 ではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。	行う。後半はキープランスを表する。 授業で学り できる。 授業で学り できる。 授業で学り できる。 授業で学り できる。 授業で学り できる	できるとを応用していたのできるできるというでものものものものものものものものものものものものものものものものものものもの	実習を行う。  C立案した自動車の  できる  理解できる  理解できる  理解できる  できる  できる  できる  できる  できる  できる  できる	
受業の進め主意点	ョ 1stQ 2ndQ	<ul><li>設前な【「【開 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週</li></ul>	る総合力を修得する。 書は集中 対応を作り、	「る。 引いた講義,および 実施する。 料書の内容を事前に に価する。詳細は第: に価する。詳細は第: にでいたが アウト・開発日程 アウト・開発日程 アウト・開発日程 アウト・開発日程 アウト・開発日程 アウト・開発日程	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知っ ついて評価する。	行う。後半はキープラーの後半はキープラーの後半はキープラーの表表で学ります。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる。 受業で学り できる	できるとを応用していたのできるできるというでものものものものものものものものものものものものものものものものものものもの	実習を行う。  「立案した自動車の」  「立案した自動車の」  「できる  「理解できる  「理解できる  「理解できる  「理解できる  「理解できる  「理解できる	
受業の進む主意点を受験が関する。	到 1stQ 2ndQ	<ul><li>設前な【「【開 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週</li></ul>	る総合力を修得する。 書は集十二に「大きない」とは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次で	「る。 引いた講義, および 実施する。 料書の内容を事前に 価する。詳細は第3 の工学的合理性に アウト・開発日程 アウト・開発日程 マル ション・ステアリイビング ジオメトリの実習 に ではなりではない。 ではなりではない。 では、 ではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知っ ついて評価する。 り は は は は は は は は は は は は は は は は は は	行う。後半はキープランスを表する。 授業で学り できる。 授業で学り できる。 授業で学り できる。 授業で学り できる。 授業で学り できる	できるとを応用していたのできるできるというでものものものものものものものものものものものものものものものものものものもの	実習を行う。  C立案した自動車の  できる  理解できる  理解できる  理解できる  できる  できる  できる  できる  できる  ・・・・・・・・・・	
受業の進む主意は、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学で	国 1stQ 2ndQ コアカリキ 合 試験 割合 0	<ul><li>設前な【「【開 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週</li></ul>	る書は集一大学を持ち、大学を表している。 では、大学のは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	「る。 引いた講義, および 実施する。 料書の内容を事前に 活価する。詳細は第3 所の工学的合理性に アウト・開発日程 アウト・開発日程 マル ション・ステアリイビング ジオメトリの実習 に関標 学習内容の到達目が 相互評価	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 選 自 財 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	行う。後半はキャープレビン・ボートフォリス	できるとを応用していた。 要が理解できるとなけれてきるという。 要な情報が理解できるという。 できるというできるという。 を確が理解できるという。 をできるという。 をできるという。 はいっといっという。 はいっといっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっという。 はいっといっといっといっといっといっといっといっといっといっといっといっといっとい	実習を行う。  C立案した自動車の  できる  理解できる  理解できる  理解できる  フベル 授業週  合計	
授業の進 注意点 授業計画 前期	国 1stQ 2ndQ コアカリキ 高 割合 0 カ 0	<ul><li>設前な【「【開 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週</li></ul>	る書は集一大学のでは、「大学学院」というない。「大学学院」というない。「大学学院」というでは、「大学学院」というでは、「大学学院」というでは、「大学学院」というでは、「大学学院」というでは、「大学学院」というでは、「大学学院」というでは、「大学学院」というでは、「大学学院」というでは、「大学学院」というない。「大学学院」というでは、「大学学院」というでは、「大学学院」というでは、「大学学院」というでは、「大学学院」というない。「大学学院」というないは、「大学学院」というない。「大学学院」というないは、「大学学院」というない。「大学学院」というないは、「大学学院」というない。「大学学院」というないは、「大学学院」というは、「大学学院」というないは、「大学学院」というは、「大学学院」というないは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というないは、「大学学院」というは、「大学学院」というないましまり、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というない、「大学学院」というないまり、「大学学院」というないまり、「大学学院」というは、「大学学院」というないまり、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というは、「大学学院」というない、「大学学院」というない、「大学学院」というない、「大学学院」というない、「大学学院」というない、「大学学院」というない、「大学学院」は、「ない、「大学学院」は、「ない、「大	「る。 引いた講義, および 実施する。 料書の内容を事前に 活価する。詳細は第3 所の工学的合理性に アウト・開発日程 アウト・開発日程 マル ション・ステアリイビング ジオメトリの実習 に でする。詳細は第3 での工学的の理性に でする。詳細は第3 での工学的の理性に でする。詳細は第3 での工学的の理性に でする。詳細は第3 での工学的の理性に でする。詳細は第3 での工学的の理性に でする。詳細は第3 での工学的の理性に でする。詳細は第3 では、第3 では、第4	P C を用いた演習を 読んでおくこと。 1回目の授業で告知す ついて評価する。 選 自 財 リ は は は は は は は は は は は は は	行う。後半はキャースターで学りである。授業で学りである。授業で学りである。授業で学りである。授業で学りである。授業で学りでは、の到達相を設ける。 できる かっぱい かい できる かい できる できる はい いい できる はい いい できる はい いい	できるできる。 をが理解できるできるできる。 をできるできるが理解できる。 をはずできるが理解できる。 をはずできるが理解できる。 をはずできる。 はいできる。	実習を行う。  C立案した自動車の  できる  W理解できる  Pできる  E理解できる  プログル 授業週    合計	